

## 第3学年 社会科学習指導案

1 日 時 平成28年9月28日(木) 第5校時

2 学 年 第3学年1組 29名

3 単元名 店ではたらく人びとのしごと

4 単元設定の理由

- 単元の目標は、「ア 地域には生産販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること」「イ 地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり」である。現在、消費者のニーズの変化や流通形態の多様化により、生産や販売に関する仕事も変化している。その中で、児童が、生産や販売の仕事に興味をもち、自分の消費生活とつなぎ合わせながら追究していく。その活動の中で、生産や販売に携わる人々の工夫をとらえることだけでなく、消費者として、自身のこととして考え、生活に活かすことのできる学習が進められる教材である。
  
- 本学級の児童は、これまでに校区探検で調べ学習を経験している。その際、どこにどのようなものがあるのか地図を見ながら探検することに興味をもって取り組み、地図や新聞に表す活動を楽しむ様子は見られたが、自ら課題を見つけたり、積極的に質問を考えたりする姿は、一部の児童にしか見られなかった。与えられた課題に対しては真面目に取り組み、追究することができるが、「この地域を比べて考えてみたい」「なぜこの地域には寺や神社が多いか知りたい。」など課題を発見しようという意識が低く、経験も乏しい。そのため、振り返りの際、次に何をしたいかを考えるなど児童が課題意識をもって主体的に学ぶことができるよう少しずつ取り組んでいる所である。本校の周りには、大型スーパーマーケットや個人商店、コンビニエンスストアなど、様々な店がある。保護者と買い物に行くこともあるため、児童にとって身近な場所となっている。また、最近、新しい大型スーパーが、校区の近くにでき、児童の会話の中にもスーパーや店の名前が多く聞かれ、関心は高い。しかし、お店側の工夫や商品の流通に関しては、ほとんど知らない。アンケートの結果、本単元で見学に行くスーパーマーケットに買い物に行くという児童が37%で最も多く、次に多かったのが、新しくできたスーパーマーケットで17%だった。その他にも海田町内で6件のスーパーマーケットと1件のコンビニエンスストアの名前が挙げた。この結果から分かるように、数多くのスーパーマーケットが海田町にはあり、児童の保護者は、様々な価値観でスーパーマーケットを選ぶことができる状況であることが分かる。また、単元の学習前に児童になぜそのスーパーマーケットに行くと思うかと問うと、「安い」「近い」「いつも行くから」という答えが返ってきた。
  
- 指導にあたっては、課題解決の過程を踏みながら、児童が主体的に学習に取り組めるようにしたい。まず、自分の家の買い物の様子を調べ、表やグラフに表し、気付きを話し合う中で、「なぜイオン海田店に人が多く買い物をしにいくのか」という課題を立てる。そこで、消費者が店を選択する理由を予想し、実際にイオン海田店に見学に行く。学習を進めながら、常に「なぜ」という課題をもって取り組ませたい。スーパーの見学の中で、インタビューしたことや記録したことを整理しながら、課題を解決していくことで、自分たち消費者の立場ではなく、販売する人たちの工夫や努力を理解し、願いに近づくような学習を創造していく。また、調べ学習を進めていく中で、自分の生活とスーパーマーケットの人の工夫や努力がどのようにつながっているのか、考えながら学ばせていきたい。その際、協働学習を行い、意見を出し合いながら自分の考えを広げていく。ゴールイメージには、自分が学んだことをポスターで家族に伝える活動を通して、さらによりよい消費生活が家族と共にできるようにしていきたい。

#### 4 単元の目標

地域の人々の販売に関する仕事の様子に興味をもち、これらの仕事が自分たちの生活を支えていることや仕事に見られる特色、他地域などとの関わりについて見学したり資料を活用したりすることを通して調べるとともに、販売の仕事に携わっている人々の工夫や努力を自分たちの生活と関係付けて考えることができる。

#### 5 単元の評価規準

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 観察・資料活用 of 技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
・身近な地域の販売活動に携わる人々の様子に関心をもち、見学や調査活動を通して、自ら働きかけて意欲的に調べようとする。	・身近な地域の販売活動に携わる人々は、消費者の願いに合わせて工夫していることを考えることができる。	・身近な地域の販売活動に携わる人々の様子を、インタビュー等で具体的に観察・調査し、見学メモやカード等にわかりやすく表すことができる。	・身近な地域の販売にかかわる仕事には、それぞれ特色があり、それに携わる人々は、工夫や努力をしていることを理解している。

#### 6 単元指導計画（全 12 時間・本時 7/12）

過程	ねらい	主な学習活動と内容	■教師の働きかけ □評価 ☆資料
社会認識を育てる場	であらう	①買い物した経験を話し合い、家の人はどうな買い物をしているかを考えさせ、買い物調べの方法について計画を立てる。	<p>■買い物に行く場所はどのような理由で選んでいるかを考えることによって、課題をもてるようにする。</p> <p>■買い物調べについて保護者に主旨や内容を知らせ、協力を得られるようにする。</p> <p>☆買い物調べカード</p> <p>□関①：授業後の感想 買い物調べについて自分の考えた予想を書き、これから知りたいことを書いている。</p>
	買い物調べの結果をまとめ、傾向を調べ、買い物する人は、品質や価格、利便性など消費者が選ぶのは、様々な理由があることに気付くことができる。	<p>②買い物調べの結果を表にまとめ、それぞれの店に行く目的や買い方、理由に違いがあることを話し合う。 (表からわかること)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまなスーパーに行っているが、海田小の周りの店が多い。</li> <li>・土日に買い物している人が多い。</li> <li>・買う中身によって買い物する場所が違う。 (理由について)</li> </ul>	<p>■結果を目に見えるようにまとめ、話し合い活動に活かせるようにする。</p> <p>☆買い物調べカード</p> <p>☆買い物調べ表</p> <p>☆利用する店の写真</p> <p>☆校区の地図</p> <p>□技①：ノート 買い物調べの結果から分かったことを、表を活用して考え、ノートに書くことができている。</p> <p>■次時からの課題を児童の疑問から出</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩いて行ける。</li> <li>・家から近い。</li> <li>・品物が安い。</li> <li>・新鮮なものが多い。</li> <li>・品物の種類が多い。</li> <li>・駐車場がとめやすい。</li> </ul>	す。	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>なぜ、たくさんの人がスーパーマーケットに買い物に行くのだろうか。</p> </div>		
		<p>スーパーマーケットに買い物に行く理由を予想することができる。</p>	<p>③たくさんの人がスーパーマーケットを利用する理由を予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な種類のものが買える。</li> <li>・家の近くにある。</li> <li>・駐車場もたくさんある。</li> <li>・安い。</li> <li>・夜遅くまでやっている。</li> </ul>	<p>■買い物調べの資料や地域の地図，自分の買い物の経験など多角的に考えられるように児童の考えを広げる。</p> <p>☆買い物調べのまとめたもの</p> <p>☆地域の地図</p> <p>□思①ノート</p> <p>資料や経験を元に理由付けを行いながら，ノートに予想を書くことができる。</p>
実践的な力をつける場	ふかめる	<p>スーパーマーケットに見学に行き，スーパーマーケットに買い物に行く理由を調べることができる。</p>	<p>④⑤スーパーマーケットに見学に行き，インタビューをしたり，課題を調査したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品揃え，商品の置き方</li> <li>・値段，ポイントサービス</li> <li>・商品の安全性，信頼性</li> <li>・環境課題への取り組み</li> </ul>	<p>■イオン海田店に学習の趣旨を伝え，販売側の工夫が見られるようにしておく。</p> <p>■自分の予想と比較しながら見学ができるよう，見学のしおりを工夫し（見て分かったこと，聞いて分かったこと），予め，インタビュー内容を考えておく。</p> <p>☆見学のしおり</p> <p>□技②：見学のしおり・児童観察店や店で働く人の工夫や努力を見つけ，見学のしおりに書いている。</p>
		<p>スーパーマーケット見学で気付いたことをまとめることができる。</p>	<p>⑥スーパーマーケット見学で，インタビューしたことや，調べたことや分かったことを整理し，課題に対する自分の考えをノートに記入する。</p>	<p>■見て分かったこと，聞いて分かったことをまとめ，課題に対する自分の考えをまとめられるようにする。</p> <p>■難しい児童には，見学で分かったことと課題をつなげて考えられるよう個別支援する。</p> <p>☆見学のしおり</p> <p>☆見学時の写真</p> <p>□技③：ノート</p> <p>調査・見学をしたことについて，整理し，課題を解決するために必要な情報を選択している。</p>

		<p>スーパーマーケットは、いろいろなお客さんの願いに応えるために、工夫していることが分かる。</p>	<p>⑦スーパーマーケット見学で気付いたことを話し合う。(本時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商品がたくさんあった。</li> <li>特売のちらしが貼ってあった。</li> <li>きれいに並べられていた。</li> <li>掃除をしている人がいた。</li> <li>見えない所に色んな部屋があった。</li> <li>魚や肉を売っている裏には、部屋で調理をしている人がいた。</li> </ul>	<p>■客側の視点と店側の視点を対比させることによって、共通点に気付くことができるようにする。</p> <p>☆見学のしおり ☆見学時の写真</p> <p>□思②：ノート 店の工夫が消費者の工夫に結びついていることを考え、ノートに書くことができる。</p>
		<p>商品はどこから来るか調べ、表現することができる。</p>	<p>⑧⑨品物がどこから来るかを本や資料、見学の結果を元に調べ、調べて分かったことをノートにまとめることができる。</p>	<p>■国内の他地域や国外とのつながりに気付けるよう、見学の結果だけでなく、インターネット、本、図鑑を活用する。</p> <p>☆商品の流通に関する資料や本</p> <p>□技④：ノート 資料から、国内の他地域や国内外のつながりに気付き、文や図で表現することができる。</p>
実践的な力を育てる	いかす	<p>スーパーマーケットの工夫の学習から分かったことをまとめることができる。</p>	<p>⑩⑪調べた事、学習したことを元に、自分が店の人なら、こんな所をおすすめして、お客に来てもらうという内容を「おすすめポイント」をチラシ風を書く。</p>	<p>■これまでの学習したことが活かされるよう、店側の工夫と消費者の願いが繋がっていることを常に考えながら書くようにする。</p> <p>☆ノート、見学のしおり ☆店、店内の写真</p> <p>□思③：「おすすめポイント」チラシ 消費者の願いを考え、店側は様々な工夫をしていることを振り替えながら、自分が店側ならという視点で店のよさをアピールできる。</p>
		<p>自分や家族が買い物をする時に活かせることを考えることができる。</p>	<p>⑫上手な買い物をするためには、どのような所に気を付ければよいか、家の人に分かるように手紙形式でお知らせする。</p>	<p>■学んだことを元に自分の生活で使いたいことを考え、家の人に分かるように工夫して書く。</p> <p>☆手紙用ワークシート</p> <p>□思④：手紙 学んだことをどのように活かしているか、自分のできる消費生活について考えることができる。</p>

7 本時の学習

(1) 本時の目標

見学を通して見つけた工夫の中に込められた店の人の願いを考え、それらをお客さんの願いと比べることによって、相互に関係があることを見つけることができる。

(2) 評価規準の観点

スーパーマーケットで行われている具体的な工夫の理由とお客が店に求めている願いを比較しながら考え、関係性に気付くことができる。[思②ノート]

(3) 準備物 見学時の写真・ワークシート・テレビ

(4) 本時の展開

学習活動・内容	■教師の働きかけ ☆資料・準備物
1 スーパーの見学に行ったことを想起する。 2 本時の学習のめあてをつかむ。	■写真を活用して、様子を思い出すようにする。 ☆テレビで写真を見せる ■店の人の工夫を写真と合わせながら確認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">             何のために店の人は工夫をしているのだろう。           </div>	
3 品揃えの工夫はなぜしているのかを話し合う。	■これから学習する見通しを持つことができるようにする。 ☆ワークシート
4 なぜその工夫をしているか理由を考える。(自力解決)	■理由については、一つだけではなく、様々な理由があることを伝える。
5 グループごとに自分の考えを出し合い、理由について話し合う。 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">品揃え</span> 色んな客に来てもらうため ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">服 (ぼうし・マスク・てぶくろ)</span> 衛生的・清潔 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">商品の並べ方</span> 見やすく取りやすいため ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">温度管理</span> 安全で安心して買えるから。 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">外国人用パンフレット</span> 色んな客に来てほしいから。 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ちらし・ポップ</span> たくさんの客に来てもらうため ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リサイクル</span> 地球のため	■3人～4人のグループにし、一人一人が自分の考えを言えるよう、机間指導を行う。 ■できるだけ、6つの工夫の理由が全て考えられるよう、班で話し合う時間を十分確保する。 ■見学のしおりや写真を根拠にしながら具体例を挙げて、それぞれの工夫を行う理由を話せるように支援する。

<p>6 グループごとに話し合ったことを全体で共有する。</p> <p>7 店の工夫とお客さんの願いを比べて分かったことをまとめる。</p>	<p>■店が工夫する理由を出し合うことで、お客さんの願いと比較し、両者のつながりに気付けるようにする。</p> <p>☆買い物調べから分かったことを書いた短冊</p> <p>評価：店の行っている具体的な工夫とお客さんの願いの関係について、比較できている。B店の行っている具体的な工夫とお客さんの願いを関係づけて説明することができている。A</p> <p>■環境の工夫は何のためにしているのかを考え、お客のため意外にも工夫があるのではないかという課題をもたせる。</p>
<p>たくさんのお客さんに来てもらえるために、スーパーマーケットで働く人が、お客さんの願いを考え、店の中でさまざまな工夫をしている。</p>	
<p>8 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</p>	

8 板書計画

9/28 店ではたらく人々のしごと

何のために店の人は工夫をしているのか考えよう。

たくさんのお客さんに来てもらえるために、スーパーマーケットで働く人がお客さんの願いを考え、店の中でさまざまな工夫をしている。

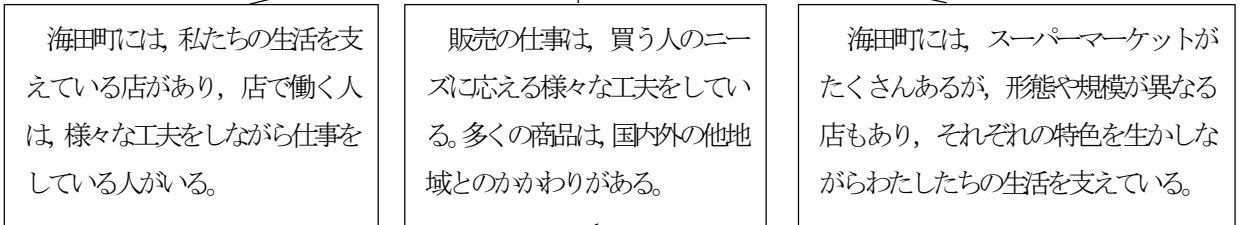
店のくふう						
品ぞろえ	ならべ方	服装	温度管理	パンフレット	ポップ	リサイクル
写真	写真	写真	写真	写真	写真	写真
べんり 色んな客 必要な分	見やすい しょう味 きげん	せいけつ 安全 安心	安全 新せん よい品	だれでも 買い物し やすい	安く 分かりや すく	地球のため かんきょう のため
客の願い						
楽に (べんり)	気持ちよく	安全・安心	新せん	だれでも	安く	

単元構想図

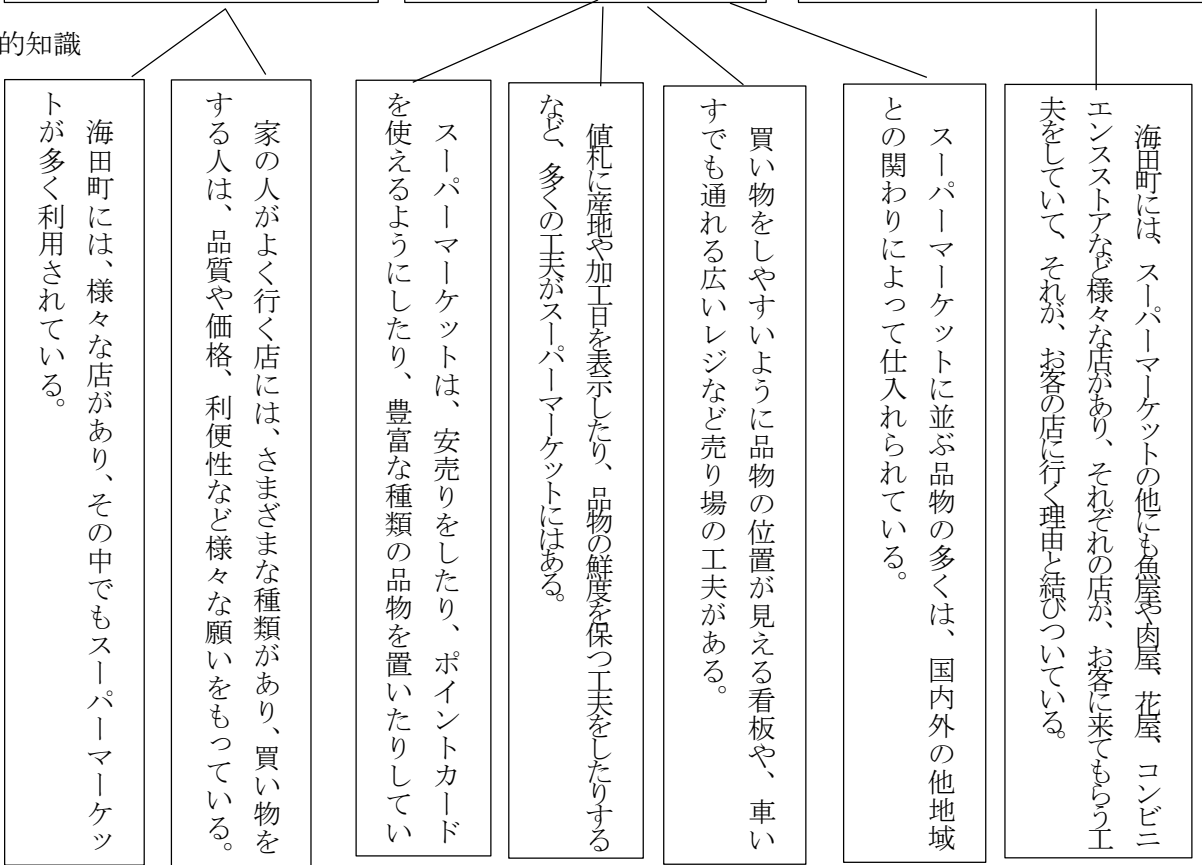
概念的知識

私たちの海田町では、人々が販売に関するさまざまな仕事をしていて、日々のわたしたちの生活を支えている。販売に関わる人々は、いろいろな工夫をしており、それらは、消費者のニーズや国内外の地域とのかかわりと深く結び付いている。

説明的知識



記述的知識



用語・語句

